

# 令和4年度 事業報告

公益財団法人 大阪府レクリエーション協会

## 公益財団法人大阪府レクリエーション協会の目指すもの

『レクリエーション運動を通じて、一人ひとりが生きる喜びと楽しみを持ち、豊かで生きがいのある生活がおくれるように、さまざまな活動を推進する。』

そして、「大阪をみんなで元気にする」この旗印を高く掲げ、大阪府民の皆さまの要望にこたえるべく、将来にわたり楽しいレクリエーション運動を提供できるよう、より一層の発展に努力してまいります。

### 基本方針

心もからだも元気で健康な人生を送りたいという皆さまの願いに応え、3つのキーワードをもとに「楽しい」をつくるお手伝いをさせていただきます。

○健康づくり	Health	心とからだの健全な「美」を願って
○関係づくり	Relation	繋がり・調和・バランスのとれた「和」を願って
○笑顔づくり	Smile	自然と笑顔がこぼれる「幸」を願って

多くの皆さまに、たくさんの「楽しい」を感じていただく機会と場を提供し、あらゆる「楽しいをつくる」事業を展開することにより、「生きる喜びづくり運動」を積極的に推進してまいります。

「楽しい」をつくる事業とは

- ・楽しい人をつくり出す 【指導者・仲間・グループなど】
- ・楽しい機会をつくり出す 【チャンス・プログラム・場面など】
- ・楽しい場をつくり出す 【広場・公園・集会など】
- ・楽しいレク財をつくり出す 【あそび・遊びの用具・スポーツなど】

笑顔が「楽しい」をつくり、楽しいことが「心の元気」につながります。  
笑顔で元気な皆さまの輪 ~和~ を広げ、つなげていくことが当協会の願いです。

### 重点目標

公益財団法人として、当協会の事業の公益性をアピールし、社会的評価を高める事業を展開し「人づくり」「居場所づくり」「地域づくり」へ取り組みます。

- ・人材育成とその人材（人材）の活用により事業を推進します。  
レクリエーション学苑を開催してレクリエーション・インストラクターを養成し、これからレクリエーションリーダーとしての活動を目指す人の育成を図る。  
公認講師、レクリエーション公認指導者、事業運営支援サポーター、生涯スポーツ・ディレクターなどにより地域や学校等でレクリエーションリーダーを活用した事業を展開する。
- ・楽しくいきいきとしたレクリエーション活動を展開できるリーダーを目指して、生きがいづくりや健康づくり等につながる講座「レクリエーション塾」を開催し、指導者の資質を向上する。
- ・急速に進む少子高齢化の社会情勢の変化をふまえて、レクリエーション支援を通して、健康寿命の延伸を図る事業を開催する。
- ・子どもの体力の低下とこころの活力が弱っている傾向が指摘されている今、豊かなこころや健やかな体の育成のために「子どもが元気になるセミナー」を開催する。
- ・講師派遣事業を活発に推進する。公認講師の派遣により、レクリエーション活動の輪の拡大を図り、レクリエーション活動の理解を深めていただく機会とする。そして、リーダーの活動の場を広げる。

- 年度初めの加盟団体数は（33団体）であり、各団体となお一層の連携協調を図る。  
（種目団体 ≪20≫、地域団体 ≪8≫、領域団体 ≪5≫）  
大阪府レクリエーション・コーディネーター会、福祉レクリエーション・ネットワーク大阪、大阪府レクリエーション協会課程認定校連絡会などとも連携を強化する。
- 新たな特別賛助会員、賛助会員、特別会員を募り、当協会支援の輪を拡大する。  
当協会が行うレクリエーション運動の趣旨に賛同し、ともに支えて頂く多くの賛助会員等を募集し、個人や法人から賛助会費や寄付を募る。

報告	加盟団体28団体（種目団体15、地域団体8、領域団体5となる）
	その他 賛助会員24団体（特別賛助会員5社 賛助会員19団体）
	新型コロナ感染予防のため活動ができなかった団体が多かった。これにより財政が悪化した。そして、会員の高齢化等により団体の継続ができにくくなった等の団体が多くなったことにより、会員が減少した。

## 事業報告

### 1. おおさか元気プロジェクト特別プログラム

平成27年に当協会が「大阪」を「みんな」で「元気」にするためにスローガンとして掲げた「おおさか元気プロジェクト」の主旨にのっとり、プログラム参加・会場提供・資金提供・プログラム提供の共同参加型社会貢献運動の展開とするための特別事業。

おおさか元気プロジェクト2022 with 住吉大社

日程：5月

会場：住吉大社五月殿及び南絵馬殿付近および周辺地域公園など

報告 新型コロナウイルス感染が第6～7波となり、準備期間の設定ができず、実施予定日にはまだ取まらず開催を見送らざるを得なかった。

### 2. 普及奨励

#### (1) 歩育事業

「歩育」を府民運動としての定着と拡大を目指して、例会・ふれあい歩育・歩育講座を実施する。

#### ■月例会

定期的な事業の実施により府民に『歩育』について一層の啓蒙を図り、歩育事業を定着化させる。そのため、参加者のニーズとマッチングした季節感あふれる魅力的なコースを設定し、毎月例会として「歩く」+「交流」事業を開催する。

- |   |           |                             |    |      |     |
|---|-----------|-----------------------------|----|------|-----|
| ① | 5月15日(日)  | 堺・中百舌鳥古墳群を訪ねる(Ⅱ)(堺市)        | 報告 | 参加人員 | 18名 |
| ② | 6月19日(日)  | 伊丹・有岡城址から荒巻バラ公園へ(伊丹市)       | 報告 | 参加人員 | 13名 |
| ③ | 9月18日(日)  | 吹田の渡しと街並みを訪ねる(吹田市)          | 報告 | 参加人員 | 18名 |
| ④ | 10月16日(日) | 飛鳥の里を訪ねる(奈良 高市郡)            | 報告 | 参加人員 | 13名 |
| ⑤ | 11月20日(日) | 星のブランコへ行こう(交野市)             | 報告 | 雨天中止 |     |
| ⑥ | 12月18日(日) | 大阪で一番大きな区、平野区を探訪しよう(大阪市平野区) | 報告 | 参加人員 | 30名 |
| ⑦ | 1月15日(日)  | 灘五郷酒蔵巡り、西宮郷～今津灯台他(神戸灘区)     | 報告 | 参加人員 | 32名 |
| ⑧ | 3月19日(日)  | 京街道(大阪～守口)を訪ねる(大阪市中央区)      | 報告 | 参加人員 | 26名 |
|   |           | コース変更 大川沿いに大阪城～柴島水道記念館を訪ねる  | 報告 | 参加人員 | 26名 |

#### ■ふれあい歩育

歩育のコンセプトである【五感】(見る・聞く・触れる・食べる・匂いをかぐ)をテーマとして、子どもから高齢者まで、老若男女問わずに楽しむことのできる全世代型の「歩く」+「五感体験」事業を府下の公園で実施する。

- 10月30日(日) 五感を育み生きる力の再生を図る 於：服部緑地(大阪市)  
「服部緑地で草遊びやゲーム・クラフトを楽しもう」

報告 参加人員 31名

- 「歩育の日」記念特別例会 「ホ」4 「イク」19として 4月19日を基本に特別事業を実施。

テーマ：大阪城公園歴史ウォーク

日程：4月17日(日)

会場：大阪城公園 大阪天満宮方面

報告 行き先変更→森之宮から大阪城公園

報告 参加人員 22名

## ■歩育講座

次世代を担う新たな歩育スタッフの養成、および、「歩育」の推進と普及を図り、「歩育」について考え・学ぶ「歩育講座」を開催。

日程：4月17日（日）

報告 参加人員 10名

会場：ホテルプロムローズ大阪

### (2) 2022府民スポーツ・レクリエーション事業発表交流会

大阪府および府民スポーツ・レクリエーション組織委員会が主催する本大会の内、発表交流会において、各加盟団体等が演技発表し、あわせてスポーツ・レクリエーション種目の体験コーナーの開催を支援する。

日程：11月13日

報告 新型コロナ感染防止対応で見送られた

会場：堺市

### (3) レクリエーション塾

レクリエーションリーダーが幅広く見識を広め、指導者の資質の向上を目指した教室として開催。今年度は準上級インストラクターの申請要件となる「支援者研修」も兼ねて、一般のレクリエーション活動に関心のある方にも参加いただける内容で開催する。

日程：8月～3月の毎月第3水曜日（全8～9回）

報告 新型コロナ感染防止対応で見送った

会場：大阪府立体育会館他

### (4) 子ども元気アップセミナー ※大阪府レクリエーション・コーディネーター会との協力開催

子どもの元気な健全育成を目指し、支援するリーダーを養成する。また、子どもとかわる活動している方のスキルアップを目指したセミナーとして開催する。

日程：10月23日（日）

報告 参加人員 24名

会場：大阪府立体育会館 多目的ホール

### (5) 第49回朝日民踊大会 ※朝日新聞社と共催

古式豊かな、伝統の日本民踊を演技発表する。

府下の民踊団体が日ごろの練習の成果を発表し、広く府民が演技を鑑賞する。

日程：9月23日（金・祝）

報告 コロナ対応感染予防対策を不特定多数が来場することへの対応やホール側の指示の指定席化や、消毒ができず、開催を見送った

会場：NHK大阪ホール

### (6) 高齢者元気アップセミナー ※福祉レクリエーション・ネットワーク大阪との協力開催

高齢者のレクリエーション活動の支援を通して、健康寿命の延伸を図る。そのためのプログラム開発や支援者の養成に取り組む。

日程：11月27日（日）

報告 参加人員 26名

会場：大阪府立体育会館 第2～4会議室

### (7) ウォークラリー大会

非連続のコマ地図を読みながら、2～4名のグループでコミュニケーションをとり、決められたコースを歩く。途中、ゲームや課題に挑戦し、町の歴史や史跡を探って、規定時間で歩くウォークの競技大会。

日程：11月6日（日）

報告 参加人員 11名

会場：大阪市内

(8) 友遊パトロール (有資格者支援事業)

有資格者支援事業として、大阪府下へ広く(各地域を計画的にパトロール)指導者を派遣し、各地区を計画的にパトロールする。

地域に密着した指導者の育成と、その指導者の活動を定着させるための「リーダーの居場所づくり」になるよう、大阪府下へ広く指導者を派遣する。

また、当協会の周知の一助にもなり、レクリエーション運動のPRへと繋がる。

報告 福祉レク・レクコーディネーター会他で 3件実施

(9) 「健康スポレクひろば」を開催

高齢者の健康寿命延伸のための活動で、身体を動かすことが苦手な高齢者に運動習慣を身につけていただくために、自転車を通える地域で「健康スポレクひろば」を開催する。

これまで toto や住友生命健康財団様の助成を受けて実施してきたが、本年から、住之江区連合地域活動協議会と協働し自主継続事業として開催。

日程：4月からの第2水曜日 昼間 報告 4/13 (20名参加) 5/11 (19名参加)

6/8 (17名参加) 7/13 (18名参加) 9/21 (26名参加)

10/12 (25名参加) 11/9 (25名参加)

12/14 (22名参加) 2/8 (22名参加) 3/8 (20名参加)

場所：住之江区 御崎福祉会館

(10) 第76回全国レクリエーション大会 2022 ひょうご

全国のレクリエーション関係者が一堂に会した大会。開会式典で始まり、研究フォーラムや種目別大会、レク活動の今後を考えるセミナーや、新しいレク活動の事例紹介、加盟団体紹介、市民向けイベントなどが全国持ち回りで開催される。

日程：9月17日(土)～19日(月・祝)

報告 当協会から多くのリーダー及び事務局が参加

開催地：兵庫県 姫路市

報告 レク・コーディネーター会・福祉レクネットが共同で研究発表実施

(11) 日本レクリエーション協会加盟団体代表者会議

日本レクリエーション協会に所属している各都道府県協会や加盟団体が一堂に会する会議。今後の活動方針や、事業展開の指針が示される。

日程：12月1日(木) 報告 参加人員 1名

開催地：東京

(12) 日本レクリエーション協会ブロック会議

日本を6つのブロックに分けて、レクリエーション活動の具体的な打ち合わせを行う会議。本年より大阪府が幹事県となる。

日程：6月～7月

開催地：大阪 大阪重粒子線センターおよびKKRホテル

報告 7月7日 大阪府が幹事協会となって初回の会議、近畿の各県および日本レク協会から参加 17名

(13) 福祉レクリエーション・ワーカー養成講座 (日本レクリエーション協会主催)

福祉分野で活動するワーカーの養成の講習会を大阪で開催し、実習の場を提供する支援をする。

開催日：

報告 新型コロナ感染防止対応で見送られた

開催地：大阪の福祉介護施設

- (14) 講師トレーニング (日本レクリエーション協会主催)  
レクリエーション・インストラクタースキルアップ制度支援者研修および講師向けの研修会。

日時 : 報告 新型コロナ感染防止対応で見送られた  
開催地 :

- (15) その他、普及奨励に資する事業

### 3. 指導者養成

- (1) レクリエーションダンス講習会  
レクリエーションダンスを習得し、あわせて指導者としての資質を向上することを目指した講習会。

日程 : 5月7日 (土) 報告 参加人員 19名  
会場 : 都島区民センター

- (2) 生涯スポーツ・ディレクターの会 総会およびフォローアップ研修会  
各種生涯スポーツの指導ができるリーダーが所属する会で、総会と研修会を開催。

総会およびフォローアップ研修

日程 : 6月4日 (土) 報告 参加人員 36名+役員10名  
会場 : 大阪中央区民会館

フォローアップ研修会

日程 : 2023年2月4日 報告 参加人員 32名+役員10名  
場所 : 長居ユースホステル

- (3) ウォークラリー指導員養成講習会  
コマ図を見ながらクイズやゲームなどに挑戦し、規定時間に帰着することを競うウォークラリー大会を開催できる指導者を養成し、資格認定を行う講習会を開催。

日程 : 6月12日 (日) 報告 参加人員 13名  
会場 : 大阪市天王寺区 (ゼット株式会社)

- (4) 第160期レクリエーション学苑

レクリエーション・インストラクター資格取得のための養成講座。

ゲームや歌、集団遊び、ニュースポーツといったアクティビティを効果的に活用し、「集団をリードする」「コミュニケーションを促進する」「楽しい空間をつくる」といった、対象や目的に合わせてレクリエーション活動を企画・運営・展開できる指導者を育成する。

令和2年度より toto の助成を受け実施しており、当年度も継続された。

日程 : ①8月20日 (土)	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">報告 参加人員 18名</span>	②9月4日 (日)	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">報告 参加人員 22名</span>
③9月25日 (日)	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">報告 参加人員 31名</span>	④10月10日 (月・祝)	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">報告 参加人員 20名</span>
⑤10月23日 (日)	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">報告 参加人員 24名</span>	⑥11月12日 (日)	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">報告 参加人員 12名</span>
⑦11月27日 (日)	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">報告 参加人員 26名</span>	⑧12月11日 (日)	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">報告 参加人員 18名</span>
⑨1月15日 (日)	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">報告 参加人員 20名</span>	⑩2月5日 (日)	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">報告 参加人員 20名</span>

会場 : 府立体育会館他

※当年度は富田林市が独自でレクリエーション・インストラクターの養成事業を実施しており（2019年より計画されたが、新型コロナウイルス感染予防対応で延期されていた）本協会より講師を派遣協力し、富田林市におけるレクリエーション活動の強化に資する。

報告 7月17日より開催 参加人員 15～20名

(5) 第27回課程認定校レクリエーション交流大会

レクリエーションに関する学習を修める学校の学生たちの発表と交流の大会。  
課程認定校の学生が一堂に会する一大イベント。

日程：7月3日（日）

会場：大阪府立体育会館 第一競技場

報告 新型コロナ対応で昨年についてオンラインによるレクリエーションコンテストとなった

(6) 学校レクリエーション関係

■教員がインストラクター資格を取得しやすくした制度の学校レクリエーション・アカデミーの開催支援と講師派遣を行う。

日程は未定

■学校レク研究会の活動の支援

教員免許状更新講習受講者に継続してレクの学習に取り組んでいただくなど、教育の現場でのレクリエーション活動を活発にする種の研究会を年間3回程度開催する。

代表幹事役の教員と連携を密にとり進める。

報告 新型コロナ感染防止の観点から先生方が集まることが困難で開催を見送った

(7) レクリエーション・サポーター研修講師トレーニング

レクリエーションリーダーの入門コースとして昨年日本レクリエーション協会が新制度を設けた。この制度は3時間の受講で、レクリエーション・サポーターとして登録ができ、今後レクインストラクター資格を取得しようとする場合、一部履修免除となる制度である。  
このレク・サポーターを養成する講師を認定する研修会を開催する。

実施日  
場所

報告 新型コロナ感染防止対応で見送られた

(8) チャレンジ・ザ・ゲーム普及審判員養成講習会

楽しみながらバランスよく体力や運動能力を向上させるため、各種のトライアルスポーツゲームに挑戦し、全国記録大会を実施するチャレンジ・ザ・ゲーム、およびマンカラ等の各種目（種目は変更の場合があり）を普及し、審判ができる普及審判員を養成する講習会。

日程：10月10日（月・祝）

報告 参加人員 20名

会場：大阪府立体育会館内 多目的ホール

(9) 福祉レクリエーション・ワーカースクーリング支援

日本レクリエーション協会が養成・認定する福祉分野の専門資格であり、資格取得するためのスクーリングが年2回程度実施される。このスクーリングの支援を行う。

実施日：8～9月

報告 日本レクリエーション協会がオンデマンドで対応とした

会場：



(10) 「レクの広場 (仮称)」 開設

レクリーダーが三々五々集まって、自分の持てるレク活動を披露するなどして、新しいレク活動の習得ができる等、自主活動的要素をもった場を開設する。  
リーダーの拠り所として気軽に和気あいあいとした場とする。

開催日 10月～ 毎月1回程度

場所

報告 新型コロナ感染予防のため一堂に集うことになるため開催を延期した

(11) 公認講師会

各種学校や団体等からのレクリエーション活動や講習会へ派遣する講師認定と依頼をする会。

日程：3月4日(土)

報告 28名参加 公認講師41名

会場：大阪府立体育会館

(12) 講師派遣

行政、団体(事業団など)、企業などが行う講習会や事業に講師の派遣を行う。  
また、課程認定校への講師派遣、高校、大学、専門学校などでの公認指導者養成やレクリエーション学習の委託を受け、講師の派遣をする。

報告 一般派遣実施件数 167件

(13) レクリエーション・インストラクター資格認定審査会

第1回目 6月24日(金)

報告 審査会 1回実施41名審査

## 4. 組織の拡大強化

1. 支援会員の募集とおおさか元気ファミリーの登録促進。

報告 事業が少なくなり、積極的な募集はできなかった

2. 歩育の担い手の育成と組織の強化。

報告 歩育リーダー養成講習会を開催した

3. 学校レクリエーション研究会会員登録促進。

報告 新型コロナ感染予防の観点から休止

4. 生涯スポーツ・ディレクター資格取得者による大阪府生涯スポーツ・ディレクターの会会員登録促進。

報告 総会とフォローアップ研修会を実施したが高齢化により会員の減が目立つ、これまでは、各市町村が会場提供や参加人員確保をしていただきながら実施してきたが、次年度は当協会が全額出資して、初めて大阪市内で開催し、組織の確立を目指す

5. 種目団体との連携強化と新たな組織との連携を図る。

報告 各団体の高齢化と新型コロナ対応により活動ができず、会員減少などから、存続ができなくなった団体もあり、会費納入の延期希望も出ている。

退会希望団体：枚方市野外活動協会、大阪マレットゴルフ協会・(公社)リズム体操研究会、日本3B体操協会、NPO法人日本太極柔力球連盟大阪府支部

新規加入希望団体は、高齢者大学校(加入済み)・大阪府エスキーテニス連盟(検討中)の2団体

## 5. 調査広報活動

1. レクリエーションに関する情報や資料の収集及び調査研究を行う。

関係情報の収集と調査研究を取り進める。

**報告** コミュニケーションアップのための話し方（フォーカシングやアサーションのさらなる研究）を進行中。また、加盟団体との連携を図って情報の収集にも務めている

2. 広報活動

(1) ホームページ、フェイスブックによるタイムリーなお知らせの実施や情報の充実を図る。

**報告** タイムリーな記事掲載に努めた

(2) 情報誌『レクリエーション運動の情報誌』を年間4回発行する。

(6月・9月・12月・3月)

**報告** 4回発行 6500部印刷

(3) 情報誌やイベント情報チラシ設置先の拡大。**報告** 配布先の見直しを行った

(4) 新聞社等との提携の強化を図り、外部への発信を拡大する。

**報告** 新型コロナ感染防止対策に呼応して多くの事業が中止となり、大阪日日新聞への記事掲載を中止していたが、4月より掲載を再開した。

## 6. 需品の斡旋及び紹介

レクリエーションに関する教材とすべく図書、用具など需品の斡旋、紹介を行う。

**報告** 斡旋件数が大幅に減少したが回復傾向にある

## 7. その他

特別会員様へのサービス向上

会員との連携を強化し、会員へのサービスを向上する。会員は、本協会が推進するレクリエーション活動の推進を支援する。

**報告** 特別会員募集29名 参加割引券発行

以上



*Osaka Recreation Association*